――ワイドバンドシステム小特集（英文論文誌 A）論文募集――

ワイドバンドシステム小特集編集委員会

基礎・境界ソサイエティ英文論文誌では，ワイドバンドシステム小特集（2019 年 1 月号掲載）を企画致しました．

情報通信におけるワイドバンドシステム全般に関する論文を広く募集致します．募集テーマは下記の通りですが，特にその分野を特定するものではありませんので，多数の御投稿をお待ちしております．

1. 対象分野

ワイドバンドシステム一般

グリーン通信，高速電力線伝送システム・モデリング，高速 xDSL 通信，ITS，スペクトル拡散技術，マルチキャリヤ技術，OFDM 技術，ウルトラワイドバンド（UWB）技術，光通信，可視光通信，ソフトウェア無線技術，ディジタル TV 技術，無線 LAN 技術など

ワイドバンドシステムのための通信方式・信号処理

変復調方式，同期捕捉，同期追尾，符号，送受信装置，多重アクセス技術（CDMA，SDMA，TDMA，FDMA，またその複合技術），信号処理技術，モデリング，測距技術，レーダ技術，MIMO 技術など

ワイドバンドシステムのためのデバイス・モジュール・装置

同期回路，低消費電力化技術，モデム，アンテナ，アンプ（PA，LNA など），LSI 設計・試作，高速動作技術，など

また，特に本小特集では 2018 年 3 月 16 日開催の第 2 回可視光通信国際会議・展示 2018（ICEVLC2018）にて発表された研究者の最新研究成果に加え，可視光通信技術全般を対象とした論文も広く募集致します．この分野に係る多くの方の御投稿をお待ちしております．ICEVLC2018 について：http://vlca.net/conference/icevlc2018/

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします．ページ数は，原則として，論文の場合は刷り上がり 8 ページ，レターの場合は刷り上がり 2 ページを標準とします．標準ページ数を超えると，掲載料が急に高くなりますので御注意下さい．詳細は Information for Authors（http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html）を御参照下さい．査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合があります．

3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます．以下の手順で御投稿下さい．

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx より登録を行って下さい．初期投稿時に，編集可能な論文本体（TeX/Word），図，著者の写真，biography も投稿する必要があります．なお登録時には必ず“Journal/Section”で［Special-WB］Wideband System を選択して下さい．［Regular-EA］を決して選択しないで下さい．

4. 論文投稿締切日　2018 年 4 月 13 日（金）厳守

5. 問合せ先

幹事　能田康義

三菱電機株式会社情報技術総合研究所通信技術部 無線信号処理グループ

TEL〔0467〕41-2850，E-mail：Noda.Yasunori@dp.MitsubishiElectric.co.jp

6. WBS 学生奨励賞

本特集では，掲載された論文の中から優れた内容のものを選抜し，WBS 学生奨励賞を授与します．受賞対象論文は，第 1 著者が 2018 年 3 月 31 日時点で学生であるものと致します．

7. 小特集編集委員会

委員長　前原文明（早大）

幹　事　能田康義（三菱電機），小澤佑介（茨城大）

委　員　荒井伸太郎（岡山理科大），大内浩司（静岡大），大野光平（明大），岡田　実（奈良先端大），小野文枝（NICT），亀田　卓（東北大），齋藤将人（琉球大），清水昌彦（富士通研），庄納　崇（インテル），中條　渉（名城大），浜村昌則（高知工科大），藤井雅弘（宇都宮大），松波　勲（北九州市立大），森香津夫（三重大）

8. 付記

＊Web による電子投稿の際，“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”に承諾して頂きます．

＊締切日を厳守して下さい．

＊採録論文については掲載料が必要となります．

＊投稿に際しては，著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません．また，すべての著者が会員であることを推奨致します．ただし招待論文に関してはこの限りではありません．必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については，投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい．入会の案内はこちらを御覧下さい．http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html